

久留米大学医学部(後期) 英語

2026年 3月 8日実施

1	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(c)	(d)	(a)	(d)	(b)	(d)	(b)	(a)				
2	1.	2.										
	(c)	(d)										
3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(c)	(f)	(d)	(d)	(b)	(e)	(b)	(f)	(a)	(e)	(d)	(b)
4	1.							2.				
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)					
	(c)	(d)	(a)	(d)	(b)	(a)	(c)	(c)	(d)	(f)		
5	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.					
	(b)	(b)	(c)	(c)	(d)	(b)	(a)					
6	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.				
	(a)	(h)	(b)	(a)	(a)	(h)	(d)	(f)				

<解説>

1

1. (c) I find it (**improbable**) that a person of character like him replied to the interviewer's question in such a rude manner.

「彼のような性格の持ち主がこんな失礼なやり方で面接官の質問に答えたということはありそうにないと思う」

残りの選択肢の意味は、(a) imaginable 「想像できる」、(b) impeccable 「非の打ちどころのない」、(d) importable 「輸入可能な、インポート可能な」である。

2. (d) If you disagree with others' opinions, you can either walk away or have a (**civil**) conversation with them. The latter, naturally, would be more advisable.

「他人の意見と合わないのであれば、立ち去るかあるいはその他人と礼儀を失しない会話をするのがよい。当然ながら、後者のほうがおすすめである」

残りの選択肢の意味は、(a) provocative 「挑発的な」、(b) meek 「柔和な、おとなしい」、(c) desperate 「必死の、絶望的な」である。

3. (a) One of the recent problems in Japan is that truck drivers are (**overstretched**) due to the new regulation of legal working hours.
 「日本における近年の問題の一つは、法定労働時間の新たな規制によって、トラック運転手は能力の限界を超えているということだ」
 (a)の *overstretch* は、原義が「～を伸ばしすぎる」であるが、<*overstretch* O(人)>で、転じて「能力の限界を超えて、人に何かをさせる」の意味となる。<*be overstretched*> という受動態の形では、「(人が) できる範囲を超えて過剰な負担がかかっている」という意味になる。
 残りの選択肢の意味は、(b) *overjoyed* 「大喜びの」、(c) *overcharged* 「法外な請求をされた、過積載の」、(d) *overdrawn* 「(銀行口座などが) 借り越しの、残高がマイナスになった」である。
4. (d) Joey did not intend to (**sour**) the mood at the party until one of the guests made an offensive remark about his sister.
 「ジョーイは、招待客の一人が自分の妹に対して侮辱的な発言をするまでは、パーティーの雰囲気を台無しにするつもりなどなかった」
sour は、文字通りには「～を酸っぱい味にする」の意味であるが、そこから転じて、<*sour the mood*> で、「よい雰囲気を台無しにする、ムードをぶち壊す」の意の口語表現である。
 残りの選択肢の意味は、(a) *lift* 「～を持ち上げる」、(b) *sink* 「～を沈ませる」、(c) *tinge* 「～に感情などを帯びさせる」である。
5. (b) Trust is regarded as an essential social (**lubricant**) that facilitates cooperation in society and contributes to the maintenance of social order at various societal levels.
 「信頼とは、社会における協力を促進し、さまざまな社会階層での社会秩序の維持に寄与する極めて重要な社会的潤滑油としてみなされている」
 残りの選択肢の意味は、(a) *contradiction* 「矛盾」、(c) *median* 「中央値」、(d) *interaction* 「相互作用」である。
6. (d) Pharmacists should dispense medications to patients and offer expertise in the safe use of (**prescriptions**).
 「薬剤師は、薬剤を患者に調合し、処方箋の安全な使用に関する専門知識を提供すべきである」
 残りの選択肢の意味は、(a) *repercussion* 「反響、余波」、(b) *prohibitions* 「禁止事項」、(c) *recollections* 「思い出」である。
7. (b) Based on the number of mast cells, there was no evidence of functional nutritional (**deficiency**) in mice from any of the diet groups.
 「マスト細胞の数に基づくと、どんな食事群のマウスにも機能的栄養欠乏の証拠はなかった」
 残りの選択肢の意味は、(a) *outbreak* 「(疫病、感染症などの) 大流行」、(c) *inclination* 「傾向」、(d) *liability* 「負債、義務」である。
8. (a) The festival highlights and celebrates the achievements of young scientists through fun, inspirational, and (**thought-provoking**) talks and panel sessions.
 「その催しは、楽しく、ひらめきを与え、示唆に富む講演やパネル会議を通して、若い科学者たちの成果を強調したたえている」
 残りの選択肢の意味は、(b) *half-witted* 「間抜けな」、(c) *nail-biting* 「いらいらさせる」、(d) *anti-inflammatory* 「抗炎症の」である。

2 (※以下解説の文番号は、不要文を含めた場合の番号である)

1. 本文の主題は「音は聞こえるが言葉として認識できない隠れ難聴」である。まず(a)の「音自体は聞こえていても、それを言葉として認識する能力が衰える『自覚のない難聴(隠れ難聴)』が存在する」という内容は、第1段落第1文の「聴力が同程度であっても、加齢に伴い他者の言葉を聞き取る能力が低下す

る」という内容や、第4段落第1文の「難聴レベルがほぼ同じ対象者であっても、年齢が上がるにつれて、語音聴力検査における正答率が低下する」という内容と一致する。また(b)の「標準的な検査である純音聴力検査は、軽度から重度までの難聴の程度を調べる」という内容も、同じく第1段落第1文と第4段落第1文の内容と関わりがあると考えられる。次に(c)の「検査は別々の機会に2回実施する必要がある」という内容だが、(b)の前半で「聴力検査には一般に2種類が存在する」と述べ、後半でそのうちの1つである純音聴力検査の説明をしているにもかかわらず、それら2種類の検査(“The tests”)を「別々の機会に2回実施する」という説明をこの位置で行うのはつながりがよくないと思われる。そして(d)の「語音聴力検査では、言葉を聞き取る能力を測定する」という内容は、(a)や(b)と同様に第1段落第1文や第4段落第1文の内容に関連していると考えられる。以上より、(c)が不要文である。

<全訳> 東海大学などの研究グループは、聴力が同程度であっても、加齢に伴い他者の言葉を聞き取る能力が低下すると発表した。

(a)8月21日に発表された大規模なデータ分析に基づく研究結果は、音自体は聞こえていても、それを言葉として認識する能力が衰える「自覚のない難聴(隠れ難聴)」が存在する可能性を示唆している。

(b)聴力検査には一般に2種類が存在する。標準的な検査である純音聴力検査は、音の高さと大きさを組み合わせて、軽度から重度までの難聴の程度を調べるものだ。(d)一方、医療機関などで実施される語音聴力検査では、日本語の仮名を一つずつ聞かせ、言葉を聞き取る能力を測定する。

その研究者らによると、純音聴力検査での難聴レベルがほぼ同じ対象者であっても、年齢が上がるにつれて、語音聴力検査における正答率が低下することが判明したという。

(削除文)(c) 検査は別々の機会に2回実施する必要がある。

2. 本文の主題は「日本における高齢化に伴う空き家問題」である。第1段落では政府が全国の空き家を調査し、住宅総数に占める空き家の割合が示されている。それを受けて(a)の主語に「その調査」とあるので、これは第1段落にある政府の調査と直接つながるため削除はできない。(b)の「900万戸の空き家のうち、新築物件を含む476万戸は賃貸用または売却用である」は、(a)の調査内容をさらに具体化したものであり、やはりこれも(a)と直接つながるため削除できない。(c)の「こうした空き家は前回調査から37万戸増加して385万戸となり、過去最多を記録した」は、前回調査と比較して空き家の数が増加していることを具体的に数値化したものである。(a)、(b)、(c)に共通するのは、空き家の数の調査とその具体的な数値である。これに対して(d)の「改善措置が講じられない場合、こうした物件は税制上の優遇措置の対象外となる」だけは、空き家問題を放置した場合に予想されるペナルティを述べており、(a)、(b)、(c)に見られる空き家の数という共通点を持たない。以上より、(d)が不要文である。

<全訳> 高齢化が進む日本において、全国の空き家数が過去最多となっている。窓に明かりはなく、壁はツタに覆われ、屋根が崩れかけている家屋も少なくない。政府が4月30日に発表した調査結果によると、全国の「空き家」は900万戸に達し、国内の総住宅数の13.8%を占めることが分かった。

これは、およそ7戸に1戸が空き家であることを意味する。(a)その調査は1948年以降、5年ごとに実施されている。(b)総務省が公表した速報値によると、これら900万戸の空き家のうち、新築物件を含む476万戸は賃貸用または売却用である。また、約38万戸は別荘など、季節的あるいは一時的な利用を目的とした物件だ。

しかし、最大の課題となっているのは、利用目的のないまま放置される空き家の増加である。(c)こうした空き家は前回調査から37万戸増加して385万戸となり、過去最多を記録した。管理されず放置された空き家は倒壊の危険性が高い。さらに、ゴミの不法投棄や放火の標的になりやすく、近隣地域の安全や治安を脅かす要因となり得る。

(削除文)(d) 改善措置が講じられない場合、こうした物件は税制上の優遇措置の対象外となる。

3

- (1) (c) (a) (f) (e) (b) (d)

Dr. Mario Krenn, ~, (who built those detectors successfully, has designed an AI-based algorithm called *Urania* to

design novel interferometric **gravitational wave detectors**).

「マリオ・クレン博士は、～、それらの検出器を成功裏に構築し、新たな干渉計型重力波検出器を設計するために、ウラニアと呼ばれる AI ベースのアルゴリズムを設計した」

まず (a) 中にカンマがあるため、この英文の主語 Dr. Mario Krenn に続く形容詞節が who より始まり、カンマの直前まで続くと考えられる。カンマの後に has があるため、この英文の動詞は、has または “has designed” のいずれかに決まる。ところで、(f) 中の不定冠詞 an に対応する単数形の名詞は、(e) の先頭の algorithm しか見当たらず、また (b) の先頭にある design は直後に名詞を伴うことより、他動詞の原形(または現在形)だと考えられ、原形である場合は、to に続く可能性が高い。さらに (b) 中の interferometric は形容詞であり後ろに名詞を伴うことが予想されるため、 $f \rightarrow e \rightarrow b \rightarrow d$ つまり、designed an AI-based algorithm called Urania to design novel interferometric gravitational wave detectors が出来上がる。残った $c \rightarrow a$ を前に置くことで、形容詞節が確定し、動詞も “has designed” だと決まる。

(2) (d) (f) (b) (a) (c) (e)

The scientists (**have converted this challenge into a continuous optimization problem** and solved it using methods inspired by modern **machine learning**).

「科学者たちはこの課題を連続最適化問題に変換し、現代の機械学習に着想を得た手法を用いて解決した」

まず、この英文の主語 “The scientists” に対応する動詞は、“have converted” だと考えられる。次に <convert A into B> 「A を B に変換する」を想定することで、 $d \rightarrow f \rightarrow b$ つまり、have converted this challenge into a continuous optimization problem とつながることがわかる。ところで、(a) 中の and は converted と solved をつないでいると考えられる。また (a) 中の最後の using の直後には名詞が、(c) 中の最後の modern の直後にも名詞が続くことが予想されるため、 $a \rightarrow c \rightarrow e$ つまり、and solved it using methods inspired by modern machine learning とつながることがわかる。この2組を順につなげると良い。

(3) (b) (d) (f) (c) (e) (a)

After (**roughly two years** of developing and running **our AI algorithms, we** discovered dozens of new solutions that seem to be better than **experimental blueprints by human scientists**).

「約2年間にわたり AI アルゴリズムの開発と運用を続けた結果、人間の科学者による実験的な設計図よりも優れていると思われる数十の新規解決策を発見した」

まず、(f) 中に、we とあるため、After より始まる副詞句(または節)はカンマの前で終わり、この英文の主語が we となることが予想される。we に対応する動詞は (c) の先頭の discovered であり、(c) の最後の new は直後に名詞が続くことがわかる。まず $f \rightarrow c$ が確定する。なお (c) 中の discovered 以外に、<After SV> を構成できる動詞がないため、<After 名詞> という副詞句を想定する。ところで、After および、(c) の new に続く名詞は、形の上では (a), (b), (e) が考えられるが、(e) の後ろには比較対象となる要素がさらに必要である。また残った (d) はこれらのいずれかを後ろから修飾することが予想される。さらに、(d) の developing と running は共通の目的語をとる他動詞である可能性を視野に入れると、最初の副詞句は After roughly two years of developing and running our AI algorithms、主文は、we discovered dozens of new solutions that seem to be better than experimental blueprints by human scientists、とすることで構造的に矛盾なくかつ意味が通る英文ができあがる。

(4) (e) (a) (d) (c) (f) (b)

The recently published (**work shows that AI** can uncover novel **detector designs and** inspire human researchers to explore new experimental **and theoretical ideas**).

「最近発表された研究は、AI が新規な検出器設計を発見し、人間の研究者に新たな実験的・理論的アイデアを探求するきっかけを与えることを示している」

まず (e) 中の “shows that AI” という構造より、この that は shows の目的語である名詞節を導く接続詞であることが予想される。また、(a) の最後の new および (f) の最後の experimental の後ろには、名詞要素が必要である、つまり (b) または (d) がつながることを考慮に入れると、文頭の “The recently

published” に続く名詞は (e) 中の work であることが確定し、対応する動詞は shows となる。さらに、名詞節内の主語は、AI 単独であることが確定する。この時点で、この節内の基本構造は “AI can uncover ~ and inspire ~” と考えざるを得ない。よって e→a および d→c と決まる。ここで、<inspire O to do ~> 「O を~する気にさせる」を想定することで、d→c→f となり、残った b は文末に置くことで構造的に矛盾のない英文が完成する。

4

1.

- (1) (c) This vision, broadcast into homes in over 150 countries, **impacted** how we perceive ourselves and our potential.
 「150 か国以上の家庭に放送されたこのビジョンは、私たちが自分自身と可能性をどのように捉えるかに**影響を与えた**」
 空所前文に “It offered a vision of a future where humanity had overcome its most destructive tendencies, embracing diversity, scientific exploration, and optimistic progress” 「この作品は、人類が最も破壊的な傾向を乗り越え、多様性、科学的探究、そして前向きな進歩を受け入れている未来像を示した」とあることから、このビジョンは、私たちが自分自身や自らの可能性をどのように捉えるかに影響を与えたのだと判断できる。
 残りの選択肢の意味は、(a) inferred 「~と推測した」、(b) impeded 「~を妨げた」、(d) imbrued 「~を染めた」である。
- (2) (d) In a time when racial and social tensions were high, from the get-go the series **featured** a multi-ethnic crew, with characters like Uhura, Sulu, and Chekov representing different ethnicities and nationalities.
 「人種的・社会的緊張が高まっていた時代に、このシリーズは当初から多民族の乗組員を**登場させており**、ウフーラ、スルー、チェコフのような登場人物がさまざまな民族や国籍を代表していた」
 feature には動詞で「~を出演させる」という意味がある。
 残りの選択肢の意味は、(a) reprimanded 「~を叱責した」、(b) imagined 「~を想像した」、(c) concealed 「~を隠した」である。
- (3) (a) *Star Trek* **celebrated** diversity as its key strength.
 「スタートレックは、多様性をその中心的な強みとして**称賛した**」
 <celebrate ~ as ...> で「~を…として称賛する」の意味。選択肢(c) intensified は、「~を強めた」という意味であり紛らわしいが、空所を含めた文はスタートレックが diversity 「多様性」を “as its key strength” 「その中心的な強みとして」肯定的に位置づけたという文脈であり、「多様性を強めた」のように強めたとは判断することができない。
 残りの選択肢の意味は、(b) excluded 「~を除外した」、(d) rejected 「~を拒絶した」である。
- (4) (d) The series popularized concepts like warp drive, transporters, and holographic technology, sparking the **imaginings** of countless young viewers.
 「このシリーズはワープ航法、転送装置、ホログラフィー技術のような概念を広め、数え切れないほど多くの若い視聴者の**想像力**をかき立てた」
 <spark the imagination(s) of ~> で「~の想像力をかき立てる」の意味。空所全文に “Furthermore, *Star Trek* fostered widespread interest in science and technology” 「さらに、スタートレックは科学技術への広範な関心を育てた」とあることから、(スタートレックという)このシリーズにより、若者の視聴者の想像力がかき立てられたと考えられる。
 残りの選択肢の意味は、(a) divisions 「分割」、(b) impositions 「賦課」、(c) concerns 「懸念」である。
- (5) (b) A non-interference policy (called the *Prime Directive*), served as a recurring theme, prompting viewers to consider the ethical **implications** of cultural intervention.
 「プライムディレクティブと呼ばれる干渉しないという方針は繰り返し現れる主題であり、文化への介入が持つ倫理的**影響**について視聴者に考えさせた。」

implications には「影響, 含意」という意味がある。空所後文に “This emphasis on critical thinking and ethical reflection encouraged viewers to engage with complex societal issues and to strive for a more equitable world.”

「このように批判的思考と倫理的考察を重視する姿勢は、視聴者が複雑な社会問題に向き合い、より公平な世界の実現を目指すよう促した」とあることから、プライムディレクティブにより視聴者は文化への介入の倫理的な影響を考えるようになったと判断できる。

残りの選択肢の意味は、(a) impediments 「障害物」、(c) detours 「迂回路」 (d) resolutions 「決意」である。

- (6) (a) The crew invariably **sought out** peaceful conflict resolution and diplomatic solutions, which offered a powerful counter-narrative to the Cold War’s angst rhetoric of the time.

「乗組員はいつも平和的な紛争解決と外交的解決策を**探し出した**。これは、冷戦時代の不安に対する強力な対抗的物語を提示していた」

resolution にせよ solution にせよ、解決策というものはあれこれと熟慮を重ねて考え出したり、探し出したりして見つけるものである。したがって正解は(a)である。

残りの選択肢の意味は、(b) bought out 「買い取った」、(c) stood out 「目立った」、(d) backed out 「後退した」である。

- (7) (c) It was a cultural phenomenon that challenged societal norms, inspired scientific innovation, and offered a vision of a more **equitable** future.

「それは社会規範に挑み、科学的革新を促し、より**公平な**未来のビジョンを示した文化現象だった」

第2段落第5文で「この作品は、偏見や性差別的な考えを越えて物事を見るよう、何世代もの視聴者に促した」とあることから、スタートレックが示した未来とは、equitable 「公平な」未来だと考えられる。

残りの選択肢の意味は (a) quizzical 「不思議そうな」、(b) elementary 「初等の / 基本的な」、(d) quaint 「趣のある」である。

2.

- (a) *Star Trek* primarily had a minimal impact on societal views regarding diversity.

「スタートレックは、多様性に関する社会の見方にほとんど影響を与えなかった。」

第2段落第1文および第5文の「スタートレックは多様性と包摂を支持した」「スタートレックは、多様性をその中心的な強みとして称賛した」という記述から、スタートレックのテーマの1つに多様性が含まれることが分かるが、多様性に関する社会の見方に対する影響力がほとんどなかったとの記述はない。むしろ、本文全体の内容から、スタートレックは人々の自己、人種、偏見、性差別、倫理等に対するさまざまな考え方に影響を与えていることが示されている。したがって、誤りだと判断する。

- (b) Despite numerous publicity efforts, *Star Trek* was not well received by viewers.

「多くの宣伝努力にもかかわらず、スタートレックは視聴者に受け入れられなかった。」

第1段落最終文の「150 か国以上の家庭に放送されたこのビジョンは、私たちが自分自身と自分たちの可能性をどのように捉えるかに影響を与えた」という記述に反する。

- (c) *Star Trek* encouraged viewers to ponder the moral considerations of cultural intervention.

「スタートレックは、文化介入の道徳的問題について視聴者に考えさせた」

第4段落第3文が根拠となる。その1文の意味は「干渉しないという方針、いわゆるプライムディレクティブは繰り返し現れる主題であり、文化への介入が持つ倫理的含意について視聴者に考えさせた」である。よって、(c)の選択肢の内容は正しいと判断できる。

- (d) Scientific marvels depicted on the show fueled public interest in scientific advancements.

「番組で描かれた科学的驚異は、科学技術への関心を高めた」

第3段落第1文および第2文が根拠となる。その1文の意味は「さらに、スタートレックは科学技術への広範な関心を育てた。このシリーズはワープ航法、転送装置、ホログラフィー技術のような概念を広め、数え切れないほど多くの若い視聴者の想像力をかき立てた」であり、選択肢中の「番組で描かれた科学的驚異」とは、第2文のワープ航法、転送装置、ホログラフィー技術を指していると考えられる。よって、(d)の選択肢の内容は正しいと判断できる。

(e) The crew in *Star Trek* consistently turned to military solutions to solve any conflicts.

「スタートレックの乗組員は、常に軍事的解決に頼った」

第4段落最終文の「乗組員たちは一貫して平和的な紛争解決と外交的解決策を追い求めており、それは当時の冷戦の不安に対する強力な対抗的物語となっていた」という記述に反する。

(f) *Star Trek's* cast was notable for its representation of ethnicities and women in authority.

「スタートレックの出演者は、様々な民族や権威ある立場の女性の描写で注目された」

第2段落第2文および第4文が根拠となる。その2文の意味はそれぞれ「人種的・社会的緊張が高まっていた時代に、このシリーズは当初から多民族の乗組員を登場させており、ウフーラ、スルー、チェユフのような登場人物は、異なる民族や国籍を表していた」「特に、宇宙船エンタープライズ号のブリッジで権限ある立場にある黒人女性ウフーラの存在は画期的であった」である。よって、(f)の選択肢の内容は正しいと判断できる。

(g) The TV show pandered to the pervasive sense of dread regarding the Cold War.

「このテレビ番組は、冷戦への恐怖感に迎合した」

(e)の根拠となる第4段落最終文にある「乗組員たちは一貫して平和的な紛争解決と外交的解決策を追い求めており、それは当時の冷戦の不安に対する強力な対抗的物語となっていた」という記述にこちらも反する。

(h) *Star Trek* was censored by several governments on account of its controversial views.

「スタートレックは、その物議を醸す見解のためにいくつかの政府に検閲された」

本文にスタートレックが検閲を受けていたとの記述は見当たらない。

5

1. (b) A neurological condition that causes a person to speak with a foreign accent.

問題文は、「外国語訛り症候群 (FAS) とは何か」である。

(a) 「個人が注意をひくために意図的に外国語の訛りを取り入れる状態」

(b) 「人が外国語の訛りで話す原因となる神経症」

(c) 「母語を話す能力に影響を及ぼす言語学習障害」

(d) 「ストレスや不安によって生じる一時的な発話障害」

第1段落第4文で FAS が「まれであり困惑させるような神経症」であり、「脳の機能、記憶、発話、アイデンティティーのあいだの複雑な関係を強調する神経症」とあるのが根拠である。

2. (b) Wernicke's Area

問題文は、「次の脳の領域のうち、発話することに直接関わっているものとして言及されていないのはどれか」である。

(a) 「ブローカ野」

(b) 「ウェルニッケ野」

(c) 「大脳基底核」

(d) 「運動皮質」

第2段落の「ブローカ野とウェルニッケ野」という小見出しで始まる部分の第1文に「ブローカ野は、前頭葉に位置し、言語を生み出すのに重要であるのに対して、ウェルニッケ野は、側頭葉にあり、言語

の理解にとって重要である」とあり、第2文で「FASはそれ自体、言語の理解に影響は及ぼさない」とあるが、第3文で「だが、どちらかの領域が損傷すれば実際は発話することに影響を及ぼす」とある。これらを合わせて考えれば、ウェルニッケ野が損傷して発話することに影響があるとしても、それは間接的なものだということがわかる。したがって直接的な関わりをもたないものとしての正解は(b)である。

3. (c) **Damage to specific areas of the brain involved in speech production**

問題文は、「本文によれば、FASの主な原因は何か」である。

- (a) 「幼い頃に多言語に触れることと流ちょうに発音したいという欲求」
- (b) 「相手を感動させたくて外国語の訛りを意図的にまねすること」
- (c) 「発話することに関わる特定の脳の領域が損傷すること」
- (d) 「発話パターンの変化につながる脳卒中に対する心理的トラウマ」

第2段落の「FASの背景となる科学」という見出しで始まる部分の第1文が根拠となる。その意味は、「FASは普通、発話と運動皮質に関わる特定の脳の領域の損傷から生じる」である。これにより、(c)が正解とわかる。

4. (c) **Changes in prosody can occur.**

問題文は、「FASについて正しいのは何か」である。

- (a) 「それは捏造であると広く考えられている」
- (b) 「人は有名になりたくてそれをでっち上げた」
- (c) 「韻律の変化が起こりうる」
- (d) 「それはイタリア語の学習を促す」

第3段落の「なぜイタリア語の訛りなのか」という見出しで始まる部分の第6文が根拠となる。その意味は、「だが、神経科学者が言うには、単なる偶然で神経学的変化がイタリア語の発話パターンのある特性を生じさせた。その特性とはとりわけ韻律である」である。これにより、(c)が正解とわかる。

5. (d) **Loss of a fundamental aspect of their identity on account of speech.**

問題文は、「アルシア・ブライデンの経験から強調される、FASを持つ人々が直面する重要な問題は何か」である。

- (a) 「イタリア語のネイティブのように話せるようになることの難しさ」
- (b) 「イタリア語でうまくコミュニケーションができないことによる社会的孤立」
- (c) 「脳卒中後の発話に伴う身体的痛み」
- (d) 「発話のせいで、自分のアイデンティティの基本的な部分を失うこと」

第8段落第1文に、「アルシアの話は、FASに伴う感情的困難を浮き彫りにしている」とあり、続く第2、3文で「彼女は深いアイデンティティ喪失感と向き合ってきた。『私はもう私ではない』と彼女は言い、以前の自分と現在の現実との断絶を表現している」とある。よってアイデンティティの喪失に言及している(d)が正解である。

6. (b) **They are believed to be in need of social support.**

問題文は、「FASを持つ話者は通常どのように認識されていないか」である。

- (a) 「彼らは別の国籍だと思われている」
- (b) 「彼らは社会的支援が必要だと信じられている」
- (c) 「彼らは注目を集めようとしていると認識されている」
- (d) 「彼らは何らかの心理的症状があるとみなされている」

第8段落第5文に「また、それは周囲の人が彼女をどう見るかにも影響している」とあり、第6文「彼女をイタリア人であってイギリス人ではないと思う人もいる」、第7文「単に注目を集めようとしているだけだと誤って考える人もいる」、第8文「さらに、何らかの精神的な問題を抱えているのではないかと考える人もいる」と続く。第6文が選択肢(a)、第7文が選択肢(c)、第8文が選択肢(d)にそれぞれ対応している。したがって、正解は(b)である。

7. (a) **It raises awareness about the condition in the UK.**

問題文は、「なぜアルシアが自分の物語を共有することが重要であったのか」である。

- (a) 「それはイギリスでその病気についての認識を高める」
 (b) 「それは聞き手にとって面白い物語を提供する」
 (c) 「それはアルシアが長い間離れていたイタリアの親戚と再会するのに役立った」
 (d) 「それは脳卒中の被害者が回復過程で FAS を経験する可能性があることを示している」

第9段落第2文に、「SNS やイギリスのテレビで自分の体験を語ることによって、彼女はこの珍しい症状について他の人々を知識面で助けたいと考えている。また、この症状を持つ人々が互いにつながり、自分たちの困難を共有したり吐き出したりできるよう励ましたいとも思っている」とある。“this rare condition”との記述から一般的にはあまり知られていない症状であることがわかる。だからこのことを語ることで awareness を増やそうとしているのである。

6

1. (a) For their art project, the children had **(to use various materials to create colorful drawings based on the themes)** they discussed in class.

「美術のプロジェクトで、子どもたちは授業で話し合ったテーマに基づいて、さまざまな材料を使って色鮮やかな絵を作らなければならなかった」

第一項は、(イ) を選ぶと他動詞 used の目的語がないことになるので、(ア) を選ぶ。第二項は第一項 (ア) の最後が to で終わっており、これに続けることができるのは名詞もしくは動詞の原形なので(ア) を選ぶ。ここまでで、第一項の最後の to 以下が目的を表す副詞用法の不定詞であることがわかり、第二項最後にある based は過去分詞で、直前にある drawing を修飾する形容詞句、もしくは create を修飾する副詞句を導くことがわかる。よって第三項は (ア) を選ぶ。<based on ~> 「～に基いて」。したがって (a) (ア) → (ア) → (ア) が正解。

2. (h) The manager asked the employees to submit **(their expense reports by the end of the day so the accounting department can process)** the payments in a timely manner.

「マネージャーは社員たちに、経理部が支払いを適時に処理できるよう、その日の終わりまでに経費報告書を提出するよう求めた」

第一項は、空所直前に動詞の submit があるので、その目的語となる名詞 “their expense reports” から始まる (イ) を選ぶ。第二項は、第一項の (イ) の最後にある前置詞 by の目的語となる名詞 “the end of the day” から始まる (イ) を選ぶ。第三項は、第二項の so の後に接続詞 that が省略されていると考え、助動詞 can を含む (イ) を選ぶ。<so that S' 助動詞 V'> 「～する目的で」。したがって (h) (イ) → (イ) → (イ) が正解。

3. (b) After giving it careful thought, I've decided to make **(a conscious effort to improve my time management skills so that I can better balance)** my work and personal life.

「十分に考えた末に、私は仕事と私生活をよりうまく両立させられるよう、時間管理能力を改善するために意識的な努力をすることに決めた」

第一項は、第二項がいずれも名詞で始まることから、(イ) を選ぶと定冠詞 the の後ろにある副詞 consciously が修飾する対象がないため (ア) を選ぶ。第二項は、第三項がいずれも名詞で始まっていないことから、(イ) を選ぶと他動詞 manage の目的語がないため (ア) を選ぶ。第三項は、(ア) を選ぶと空所の直後にある名詞 “my work and personal life” が不要となるため、それらが目的語となるよう他動詞 balance で終わる (イ) を選ぶ。<so that S' 助動詞 V'> 「～する目的で」。したがって (b) (ア) → (ア) → (イ) が正解。

4. (a) The professor emphasized the importance **(of conducting thorough research using reliable sources when preparing for the final)** essay, which counts for a significant portion of the grade.

「教授は、成績のかなり大きな割合を占める期末レポートの準備に際して、信頼できる資料を用いて綿密な調査を行うことの重要性を強調した」

第一項は、(イ) を選ぶと第二項及び第三項でいずれを選んでも *which* で始まる関係代名詞節内の述語動詞がないので、(ア) を選ぶ。第二項は、(イ) を選ぶと第三項でいずれを選んでも *when* で始まる副詞節内の主語である *research* に対する述語動詞がないので、(ア) を選ぶ。第三項は、(イ) を選ぶと <*when to do* ~> が名詞句となるため、*conducting* を修飾する分詞構文を作る (ア) を選ぶ。したがって (a) (ア) → (ア) → (ア) が正解。

5. (a) Students are often encouraged to participate (**actively in class discussions to share their perspectives and develop a deeper understanding of**) the topics being covered in the curriculum.

「学生たちは、授業で扱われている話題について自分の考えを共有し、その理解をより深めるために、授業内の議論に積極的に参加するようしばしば促される」

第一項は、副詞 *actively* の位置が問題である。“*participate actively in* ~” であれば「積極的に~に参加する」という意味になる。しかし、(イ) のように “*in discussions actively class that*” にすると文法的にも意味的にも *actively* が機能しない。第二項は不定詞 *to* に続くので原形の *share* である。よって (ア) を選ぶ。第三項は他動詞 *develop* に続くため前置詞の *to* は不要なので (ア) を選ぶ。したがって (a) (ア) → (ア) → (ア) が正解。

6. (h) Learning a new language has been a (**challenging but ultimately rewarding experience, and I feel a great sense of accomplishment whenever**) I manage to express my thoughts effectively.

「新しい言語を学ぶことは、難しいが最終的にはやりがいのある経験であり、自分の考えをうまく表現できたときには、私は大きな達成感を覚える」

不定冠詞 *a* に続く名詞を探す第一項には見当たらない。第二項に *experience* があり、ここまでが名詞句である。経験することが報酬を与えると考えると、*reward* と *experience* とは能動の関係になり、現在分詞を用いた *rewarding* となる。よって (イ) を選ぶ。第一項は *but* の次の語は形容詞相当の *rewarding* を修飾しなければならないので副詞である *ultimately* が適する。よって (イ) を選ぶ。第三項は主語の *I* に続くのは動詞がある (イ) の方である。したがって (h) (イ) → (イ) → (イ) が正解。

7. (d) If you are planning to visit the historical museum (**downtown next weekend, I would recommend checking their website for the opening**) hours and purchasing your tickets online in advance to save time.

「もし来週末に街中の歴史博物館を訪れる予定なら、開館時間を確認するためにその博物館のウェブサイトを見て、時間を節約するために前もってオンラインでチケットを購入することを勧める」

空所の前の *If* 節中の主語は *you* であることから博物館に行く予定を立てているのは *you* であることが分かる。よって第一項は (ア) になる。主語が *you* だと自分で自分にアドバイスを送ることになり不自然である。第二項は、*recommend* は動名詞を目的語に取るので (イ) を選ぶ。第三項の (ア) は “*their website hours*” となり意味をなさないが、(イ) の “*the opening hours*” であれば「開館時間」となり意味をなす。したがって (d) (ア) → (イ) → (イ) が正解。

8. (f) During the upcoming negotiations with our key (**stakeholders, we intend to clearly articulate our long-term strategic objectives and strive to reach a mutually**) beneficial agreement that fosters sustainable growth.

「今後の主要な利害関係者との交渉において、私たちは長期的な戦略目標を明確に示し、持続可能な成長を促す相互に利益のある合意に達するよう努めるつもりである」

第一項は、(イ)を選ぶ。“During the upcoming negotiations with our key stakeholders”で前置詞句を形成し、続く“we intend to clearly”以下が主節を形成する。第二項は“intend to”に続くので原形になっている(ア)を選ぶ。また、articulateは他動詞として使われているので目的語が必要である。“our long-term strategic”の次につながる名詞が必要であるが、第三項の(ア)のobjectedは名詞ではない。(イ)のobjectivesは「目標、目的」という意味の名詞である。したがって(f) (イ) → (ア) → (イ)が正解。

講評

- ① [語彙] (やや難) 例年通り、受験レベルを超えた語彙が並び、判断に迷う設問も含まれる。
- ② [不要文排除] (標準) 旧センター試験大問3Aと同形式。対比や接続的副詞に注目することで、不要な文を特定できる設定になっている。
- ③ [文中語句整序] (標準) 「AIを用いた新たな重力波検出器作成」に関する英文。各パーツの文法上のつながりを意識して、落ち着いて取り組むことで正解できる。
- ④ [長文総合] (標準) 『スタートレック』シリーズがもたらした社会に及ぼした様々な影響に関する英文。空所補充問題は答えを絞り込みやすく、内容一致問題も特に判断に迷うところはない。
- ⑤ [長文内容一致] (やや易) 「イギリス人女性が経験した外国語訛り症候群(FAS)」に関する英文。内容に馴染みはないが、医学用語の知識はある程度必要になる。
- ⑥ [英文完成] (やや易) 旧センター試験大問2Cと同形式。文法・語法・コロケーションに関する知識を正しく運用すれば正解できる作りになっている。

昨年度後期と大問内容・形式は同様。大問5は昨年同様に分量が増加している。全体に取り組みやすく、高得点も可能である。目標は70%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156

<p>医学部進学予備校 メビオ</p> <p>☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/</p>	<p>医学部専門予備校 YMS heart of medicine</p> <p>医学部専門予備校 英進館メビオ 福岡校</p>	<p>☎03-3370-0410 https://yms.ne.jp/</p> <p>☎0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	 <p>登録はこちらから</p>
---	--	---	---

2泊3日無料体験

授業 × 食堂 × 寮 を無料で体験できる！

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
タイムスケジュール		朝食	授業(数学)	授業(英語)	昼食	授業(理科1)	授業(理科2)	自習室で課題演習(質問可)	夕食	自習室で課題演習(質問可)	夕食	自習室で課題演習(質問可)	夕食	自習室で課題演習(質問可)
		朝食	課題提出テスト	授業(数学)	課題提出テスト	授業(英語)	昼食	面談・学習アドバイス						

無料体験期間

【第6回】3/15(日)～3/17(火)

【第7回】3/22(日)～3/24(火)

満席間近！

お申し込みはこちら▶



医学部進学予備校 **メビオ**

フリーダイヤル ☎0120-146-156

校舎にて個別説明会も随時開催しています。

【受付時間】9:00～21:00(土日祝可)

大阪府大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴェア天満橋

天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩